

平成27年度介護報酬改定

大幅引き下げ

Vol.51

ASAKURA CONFERENCE OF NURSING
CARE INSURANCE BUSINESS

朝倉
介護保険
事業者協議会

会報

朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.51 平成27年3月31日発行
(通巻51号)

第119回社会保障審議会介護給付費分科会

今回の改定は、▽中重度の要介護者や認知症高齢者への対応強化▽介護人材確保対策の推進▽サービス評価の適正化と効率的な提供体制の構築—の3つが柱で、全体として地域包括ケアシステムをつくり上げていくことを目指すものとされました。1月11日に決まったマイナス2.27%の改定率を踏まえ、大まかな内訳は、在宅分がマイナス1.42%、施設分がマイナス0.85%とされました。

■通所介護で認知症加算など新設■

通所介護では、小規模から大規模の事業所にわたって基本報酬を削減する一方、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の利用者を積極的に受け入れている事業所が算定できる「認知症加算」や、要介護3以上の利用者の受け入れを評価する「中重度者ケア体制加算」などを新設。訪問介護も基本報酬を引き下げられるが、人員基準を上回る常勤のサービス提供責任者を配置するといった事業所には、新たな加算を行う。

■生活行為向上リハ、前半は月当たり2000単位■

通所リハビリテーションでは、社会参加など生活行為に焦点を当てた「生活行為向上リハ実施加算」を新設。同加算は、開始月から起算して3か月以内に行われた場合は1か月当たり2000単位、3か月超6か月以内に行われた場合は同1000単位とする。さらに特養などでは、基本報酬減額の一方、看取り介護の体制構築やその強化を、PDCAサイクルにより推進することを要件に、死亡日以前4日以上30日以下の加算を現行1日当たり80単位から144単位に引き上げる。

■介福祉6割以上の加算を新設■

介護人材を確保するための施策として、介護職員処遇改善加算のさらなる充実を図る。今年4月以降、雇用管理や労働環境の改善など賃金改善以外の取り組みを新たに実施する事業所などを対象に、現行の職員1人当たり平均月額1万5000円相当の加算に、さらに同1万2000円相当の上乗せを設ける。また、特養や介護老人保健施設などで介護福祉士の配置が進むよう、その割合が6割以上の事業所を新たに加算で評価する。

■集合住宅への訪問、送迎なしは減算■

このほか訪問系サービスで、事業所と同一敷地内または隣接する敷地の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などに住む利用者を訪問する場合、居住人数にかかわらず、その利用者に対する報酬を10%減額する。また、通所介護や通所リハなどで、事業所側が利用者の送迎を行っていない場合、片道当たり47単位を減算する。

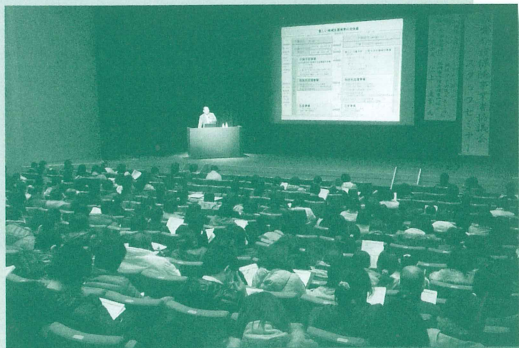
協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検索

事業報告 I 第4回スタッフセミナー

「地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議のあり方」



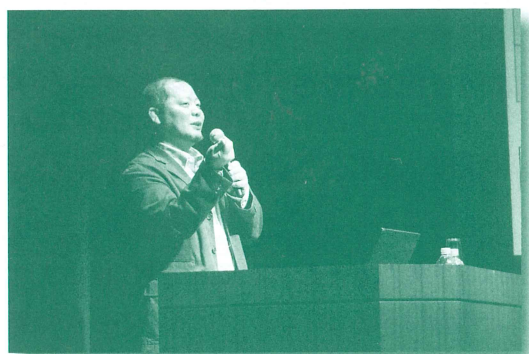
平成27年1月28日（水）、朝倉市総合市民センターで、平成26年度第4回スタッフセミナー「地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議のあり方」が開催されました。

今回は、公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会 副会長 江上文幸氏を講師に迎え、地域包括ケアシステムとは何か、地域ケア会議とは何かについて分かりやすく説明していただきました。

■地域包括ケアシステムとは■

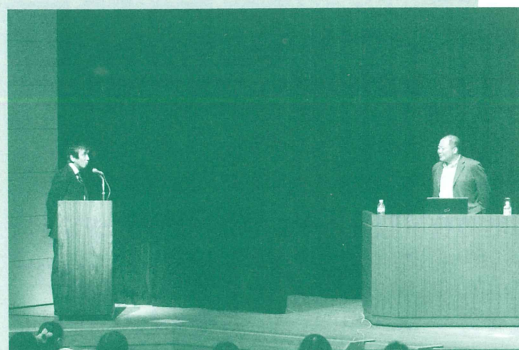
高齢者にその日常生活圏内で、(1) 医療 (2) 介護 (3) 介護予防 (4) 住まい (5) 生活支援の5つのサービスをトータルで提供する体制のこと。またこれらを分断して提供するのではなく、すべてを一体として考え、利用者のニーズに合わせて切れ目のない支援をしていこうというもの。日常生活の中でこれらのサービスを適切に提供できるよう、日常生活圏域は利用者の家まで30分以内で駆けつけられる「中学校区」を想定しています。

地域包括ケアシステムを推進していくために厚労省は、(1) 在宅医療や訪問看護の充実など医療との連携強化、(2) 24時間対応の定期巡回・随時対応サービス等の創設による在宅サービスの強化など介護サービスの充実、(3) 健康寿命を延ばすための介護予防に向けた取り組み、(4) 見守りや配食、買い物といった生活支援サービスの推進、(5) サービス付高齢者住宅など高齢者の住まいの整備などを行っています。



■地域ケア会議とは■

地域包括ケアシステム等の構築のために大きな役割を持っています。地域ケア会議では、①ケアマネジメントの質の向上、②地域のネットワークづくりや社会資源の開発、③地域課題の把握（政策形成）等が役割として求められており、「ミクロ」と「マクロ」をつなぐツールとしての「地域ケア会議」であると言えます。

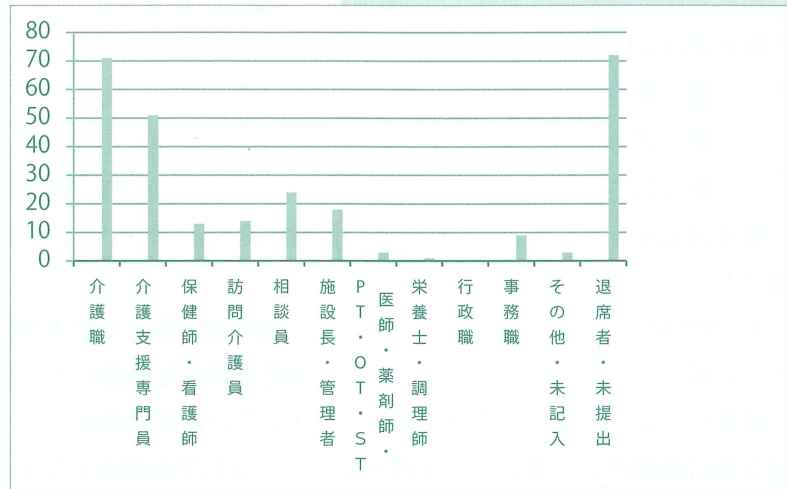


難しくなりがちなテーマでしたが、時折ユーモアを交えながらの説明は大変分かりやすく、みなさん集中してセミナーに聞き入っていました。

事業報告 I 第4回スタッフセミナー アンケート結果

(1) 参加者の状況

参加者数279名		
一般		
1	介護職	71
2	介護支援専門員	51
3	保健師・看護師	13
4	訪問介護員	14
5	相談員	24
6	施設長・管理者	18
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	3
8	栄養士・調理師	1
9	行政職	
10	事務職	9
11	その他・未記入	3
12	退席者・未提出	72
	合計	279



(2) アンケートの集計

① 勤務されている業種

業種	
居宅介護支援	41
訪問介護・入浴	16
訪問看護	2
訪問リハビリ	3
通所介護	20
通所リハビリ	8
支援センター	1
居宅療養管理	
グループホーム	27
介護福祉施設	45
介護保健施設	17
小規模多機能	6
病院・医院	2
行政	4
福祉用具貸与・住宅改修	9
その他	6
合計	207

② 現在の職種

職種	
介護職	71
相談員 (病院・施設・福祉用具貸与)	24
訪問介護員	14
介護支援専門員	51
看護師	12
保健師	1
OT	2
PT	1
ST	
医師	
薬剤師	
栄養士	1
調理師	
管理者	18
事務職	9
行政職	
その他	3
合計	207

③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	22
2	1年以上3年未満	25
3	3年以上5年未満	27
4	5年以上10年未満	45
5	10年以上	77
6	未記入	11
	合計	207

④ 講義内容について

アンケート回答者数 183名		
1	非常に良かった	71
2	良かった	89
3	どちらともいえない	22
4	あまり良くなかった	1
5	未記入	24
	合計	207
	アンケート回答率	74.1%

(3) ご意見をお聞かせ下さい

※同様の意見の多かったものを抜粋

① 講義内容に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・内容は難しかったが勉強になった。 ・わかりやすい、なおかつ話中に笑いもあって、ためになるセミナーでした。 ・介護職なので難しかった。ケアマネ中心のセミナーのような感じがした。 ・支援に関わる人達の連携がとても必要な事であると考えます。 ・内容がざっくりつまった講義でした。時間がもう少しほしかったです。
② 今後のスタッフセミナーの内容・在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度についての講演を増やしてほしい。 ・地域包括ケアについても一度あると助かります。 ・研修の対象(内容)を事前に明確にしてほしい。例えば在宅向け、施設職員向け等、身近に感じられ、即役に立つ、スキルを高められる等があるとより有意義に思えるように感じました。
③ 協議会への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の誘導、掲示などスムーズに流れるよう配慮してあってとても良かった。入り口の表示なども前々回くらいからとてもよくなってきていると思います。 ・セミナーの内容を再度検討していただきたい。 ・他職種からの講義も良いのではないのでしょうか(企業、銀行等)

事業報告Ⅱ 部会活動報告

居宅介護支援部会

香月病院ケアプランサービス 山下 啓子

居宅介護支援部会は現在 22 の事業所で活動しています。

今年度は 4 回の研修会を計画し、

第 1 回目「日常生活支援事業」について

第 2 回目「ケアプランチェック」について

第 3 回目「地域包括ケアシステム」について、それぞれ専門の方から講演していただきました。

第 4 回目は 3 月に平成 27 年度介護保険制度改正について、朝倉市役所介護サービス課担当の方からお話を伺う予定で準備を進めています。

また地域のケアマネジャーが、お互いの悩み事・困りごとを相談し合い、少しでも質の高い介護サービスの提供ができるよう会員間の情報や意見交換会も予定しています。

高齢の方に住み慣れた環境で未永く生活していただけるように、ご本人やご家族、主治医の先生やサービス提供事業所との話し合いを持ちながら、少しでも自立した生活をしていただくよう取り組んでいます。折りあるごとにケアマネジャーの資質の向上、適正なプランづくりと指導があつている中、私たちもその期待に応えようと、研修会や事例検討会など多くの勉強会に参加し努力しております。

今後も朝倉地区の介護サービス向上に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

事業報告Ⅲ 部会活動報告

福祉用具部会

有限会社スキップ 梅津 伸房

福祉用具部会は現在 13 事業所で活動を行っています。

平成 26 年度は 4 回の定例会と合同勉強会を計画し活動をしています。

また、褥瘡予防研究会も運営し、平成 26 年度は 6 回の定例会と 4 回の勉強会を計画、活動しています。福祉用具部会では、26 年 11 月に訪問リハ部会、通所リハ部会、訪問介護部会と合同で勉強会を行いました。褥瘡予防研究会では、

第 1 回目「褥瘡の基礎研修」について講習

第 2 回目「ポジショニング、移乗動作」について講習

第 3 回目「栄養管理」について講習

第 4 回目「まとめ、カルテ作成」について講習を行いました。

福祉用具部会は各事業所と情報交換を行う事で、より良いサービスや新しい情報を利用者様や、各サービス事業所に提供し、自立に向けたサービスの向上を図り、活動を行っています。褥瘡予防研究会は、褥瘡を 0 にする（予防する）を目標に活動を行っています。

今後もサービスの向上や情報を発信し、皆様のお役に立てる様に努めてまいりますので、ご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

Hobby Box

～私の趣味～

介護老人福祉施設 青寿苑 吉山 博幸 さん

私の唯一の楽しみ、それは「ゴルフ」です。社会人になってゴルフに興味を持ち、独身の頃（ジャンボ尾崎が活躍していた頃）は、仕事帰りに週3、4回練習場に通って150球から200球打ち、それから自宅で素振りやパターの練習をするなど、とにかくゴルフのことで頭の中が一杯になるほど夢中になっていました。おかげで腕前も上がり、ハーフ（9ホール）30台でコースを回れるようになりました。当時は医療機関に勤めていましたが、仕事も辞めてゴルフに関係ある仕事に転職しようかとまじめに考えたほどのゴルフ馬鹿でした。タイガーウッズが鹿児島に来た時には一人で観戦に行ったこともありました。

しかし結婚をしてからは、コースどころか練習場にも行かなくなり、ゴルフを全くしない時期が10数年ありました。そして年齢も40代になり、だんだんと体力の低下・運動不足を感じるようになって、このままではダメだと思い始めてきました。そこで、運動不足解消とストレス解消目的でゴルフを再開しました。

今では、年2回のコンペ参加と月1回のラウンドを楽しみにしています。ゴルフに行く前にはコース選び、着ていく服装選びなど仲間と談笑しながら、小学生が遠足に行く時みたいに何日も前からワクワクするし、普段は気にもしない天気予報もこまめにチェックしています。残念なことにスコアの方は100前後で、以前に比べると飛距離も出ないしミスも多いのですが…、時々出るナイスショットやナイスパットの感覚が病みつきになり、しばらくはゴルフをやめられそうにありません。

現在、青寿苑ゴルフクラブはメンバー2名で寂しく活動しています。朝倉介護保険事業者協議会の会員の皆さん、ゴルフのコンペ、メンバー不足の時には是非お声かけ下さい。

どこまでも飛んでいきますのでよろしくお願いします。



My Way

原鶴温泉病院ケアプランサービスの松葉瀬 富子さん



松葉瀬さんとの最初の出会いは、ケアプランサービス事業所へ営業にお伺いした時です。まだスキップに入って間もない頃でしたので、ケアマネさんへの訪問時はいつも緊張していました。扉をノックしながら「出てこられたらまず何を話そうか…」といつも手に汗をかいてました。でも何度か訪問させていただくうちに、気さくに仕事以外のお話しなどもさせていただき、飼っている猫の写真を見せてもらったりして色んなお話をさせていただくようになりました。

お仕事においても、ご利用者さんを紹介して頂き一緒に訪問すると、松葉瀬さんは家族のように親身に接し、ご利用者が困っている事などを聞き出して、より良いケアプランを作成されるのを見て、いつもスゴイと感じています。これからもご指導ご鞭撻よろしくお願いします。

紹介文：「有限会社スキップ 森山誠二」さん

今回は 松葉瀬 さんからの紹介で「介護老人福祉施設 日迎の園 野口隆文 さん」です！

介護スタッフリレーコラム

「振り返り、思うこと」

一般社団法人朝倉医師会 介護支援センター 福田 輝和

朝倉医師会介護支援センターは、平成22年4月に訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護事業の3事業所が一か所にまとまった事業所で、互いに連携をとりながら在宅医療支援を行っています。

以前は、朝倉医師会病院で理学療法士として急性期のリハビリテーションを担当しており、在宅とは離れた位置で仕事をしていましたが、1年前にセンター長に就任しました。それまで介護支援センターに男性職員はおらず、また理学療法士という職種もありませんでした。いま思えば、スタッフは本当に温かく迎えてくれたなあと感謝しています。また就任後も色々ありました。管理者の交代、退職、入職、異動、事務職員の産休などなど。

センター長が私になったという事からも、世代交代の時期にあったのだと思います。そんな混乱の中、訳の分からないセンター長。職員は本当によく踏ん張ってくれました。3人の管理者をはじめ、皆がいなければ乗り越えていくことは出来なかったでしょう。私は恵まれたスタッフに囲まれた中で働けてとても幸せです。

この輪を介護支援センターだけでなく朝倉地域全体に広げていけたら。「地域包括ケア」というと難しそうですが、この輪を広げることならば出来そうです。喜びを分かち合い、弱さを補い合い、皆で歩いていけるならこの難しい事も出来そうです。

そんな風に今までを振り返ると思うんです。

徒然日記

介護老人保健施設ラ・パス 通所リハビリテーション 矢野 勤

～今日は死ぬのにもってこいの日～

介護の仕事をしている人間からしたら、ちょっと不謹慎なタイトルかも知れませんが、実はネイティブアメリカンの詩集のタイトルです。この本の表題となっている「今日は死ぬのにもってこいの日」の詩の一部を紹介します。

—わたしの土地は、わたしを静かに取り巻いている。

わたしの家は、笑い声に満ちている。

子供たちは、うちに帰ってきた。

そう、今日は死ぬのにもってこいの日だ。—

「死」という言葉を使っていますが、決して暗い意味ではありません。「暮らしている地域がある。住んでいる家がある。家族（仲間）がいる。」という、満ち足り

た状況を喜んでいるのです。だからこそ「この瞬間に死ぬことができたらどんなに幸せだろうか」と言っているのだと、私は解釈しています。

私たち高齢者福祉に携わっている人間は、その先に「死」を見つめなければならないはずですが。色々な事情で「家族と過ごせない」「自宅で暮らせない」など様々な境遇がありますが、必ずやってくる「その日」に、「最期の日が今日で良かった。」と感じていただけるように努力しなければならないと思っています。

ネイティブアメリカンの方々には常に自然と一体となって生きてきました。我々日本人も自然に尊敬の念を抱いてきた民族として、共通する思想があるのではないのでしょうか。

編集後記

今年は介護報酬改定があります。地域包括ケアシステムの構築に向け、今まで以上に多職種協働・医療と介護の連携が必要になるでしょう。またケアマネジメントにおいては利用者の心身の機能の改善（残存能力の発見・引き出し）や、地域の社会資源を活用し支援することが求められています。

私は理学療法士です。「医療と介護、残存能力の引き出し」最も得意とする分野の職種の一つだと思いました。理学療法士として、朝倉介護保険事業者協議会の一員として、出来ることがたくさんありそうです。それから、いま介護支援専門員の再研修中です。4月からは介護支援専門員としても何か出来そうです。

しかしまずは今回この編集後記を書くことです。一つ一つ自分に出来る事を考え実行していきたいと思えます。(福田)

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局

〒838-0022 福岡県朝倉市城 859

社会福祉法人 宏志会

介護老人福祉施設 きらく荘

TEL(0946)21-1833 FAX(0946)21-1883

編集/発行所

朝倉介護保険事業者協議会 広報部

〒838-1505 福岡県朝倉市杷木穂坂 59-1

社会福祉法人 朝倉恵愛会

介護老人福祉施設 日迎の園

TEL(0946)62-0007 FAX(0946)62-1166

印刷/井上総合印刷株式会社